

平成29年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

6年

教科	指導のめあて	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な文言や、数値などを引用したり、図解したり、重要な語句を強調するなどの工夫を加えて表現する力を育てるとともに、自分の考えをより深めるために相手の話をよく聞く力を育てる。 ○何のために書くのか、意図を明確にし、読み手を意識した上で、書こうとする文章の種類に応じて理解しやすい文章を書く力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教室の中に限らず、全校児童や学校外の人々などを対象とした、多様な場や相手との「話す、聞く」機会を設け、表現する力を高める。 ○互いに文章を読み合い、優れた表現を模範として書く表現方法を高める。また、引用に終始せず、引用した部分と自分の考えの関係を明確にして書くよう指導する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が歴史的な事象に興味をもち進んで調べようとする態度を育てる。 ○社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の導入を工夫し、人物の働きや代表的な文化遺産に児童が興味関心をもって学習できるようにする。児童が学習計画を立て、主体的に学習できるように学習過程を工夫する。 ○単元末に、学習したことを新聞やレポートにまとめる活動を取り入れ、資料を関連付けて、自分なりの考察を表現できるようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動する場や練習の仕方を工夫して、少しづつでも技能を高められるようにする。 ○適宜、体力を高める運動を取り入れていく。 ○休み時間等で取り組める教材を提示し、体育の授業だけで終わらず、日常化につなげ、遊びの中からも体力をつけことができるようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の運動のよさを学び合う場を設定し、補助器具などを積極的に活用して、スマールステップの指導を心がける。 ○人や物の重さなどを用いた運動や時間やコースを決めて行う全身運動を適宜行う。 ○日常化につながる運動の提示と、鉄棒や縄跳び等の指導を継続して行うようする。

総合	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を的確に活用し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の興味・関心に基づく課題を設定し、課題解決に必要な情報を見通せるようする。 ○友達との協同的な活動や意見交流の場を多く設定し、自らの学びを深め、さらに解決していこうとする探究の姿勢を身に付けられるようする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを図る楽しさを味わいながら、自信をもって表現できるようする。 ○異なる言語や文化に親しみながら、より言語として英語を使える力を付けることができるようする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアや少人数グループなど、コミュニケーションを図る場の設定を工夫し、自信をもてるようする。 ○児童の関心が高まるような教材を精選し、コミュニケーションを図る楽しさを十分に味わえるようする。